

## いしかわスクエア

井上 道義の  
未来だった今より

## ♪ 正夢

僕はほとんど毎日夢を見るが、時々、見た後にストーリーを書き置いておくことがある。今回のそれはそれ。

富士山の頂上近くの山小屋に僕がなぜか噴火制御とコンサート準備の仕事でいる。そこに小澤征爾さんがよせばいいのに一人でヨレヨレやってくる。食道がんの手術後、体力が戻っていないと1年間の休養が発表されたばかりなのにだ。彼は頂上に来たつもりなのに、僕たちが3か所にも分かれて工事？をやっているのだからいぶかしげだ。「じゃあ見せるから」と僕は寒いのに4輪駆動に乗せて案内する。彼はもう自分で起きられない。足を支えたり抱いたりしてやっそこそ現状を見せる。

するとその先にも山があるので彼は驚く。僕は「下から見ればここは頂上だが、もっと上まで山はあるんです。霧に隠れて今は見えないけど、細い急な泥道もあってバスさえ登って行っ

てます」と言い、そこで目が覚めた。

彼はひとえに山の頂上に登ろうとし、道を極めた人だが、登るには大いに人の力も使った人だ。彼と僕の師でもある、斎藤秀雄先生も登頂する道は一つしかないと言いつけていた。でも頂上近くには今も工事(芸術?)をやっている人が日夜戦っているのを聞いて、そこに参加しに来たようだ。

山は強い意欲があれば子どもでも年寄りでも登れる。まず必要なのは意欲だ。しかし、意欲はあってもさすがに、人には出来ない時が来る。随分前に作った小澤塾は何のため誰のために存在してきたのか? 「一生は一つの事(たとえば指揮)だけするためにあるのではない。見渡せば人生は豊かな恩寵と喜びに満たされているはずだ!」は僕の信仰かも知れない。

(オーケストラ・アンサンブル)  
金沢音楽監督

## 小さな目

なわとび  
わたしはなわとび  
くるくる  
くるん  
みんながとんでる  
くるくる  
くるん  
みんな大すぎ  
くるくる  
くるん  
みんながびよんぴよん  
とんでくれて  
くるくる  
くるん  
うれしいな

金沢市 千坂小2年  
ごほう はな

〈係から〉 このコーナーでは小学生の詩を募集しています。あて先は〒920・0981 金沢市片町1の1の30 朝日新聞金沢総局「小さな目」係まで。



## HABガイド

3日

お屋の傑作ワイド・女弁護士朝吹里矢子  
(午後3時~4時50分)

休日の銀座。朝吹里矢子は夫とワインを買いにきて松浦綾乃に出くわした。綾乃は里矢子の大学時代の後輩。今は高級輸入品の総合ストアの取締役をやっているという。だが、里矢子と綾乃が旧交を深めた日、殺人事件は起こった。

尾海保警備隊隊長(第4管区海上保安本部交通部企画課長補佐) 松永幸治▽伏木海保管理課長(七尾海保管理課長) 浜崎諭吉▽七尾海保管理課長(第9管区海上保安本部総務部経理課専門官) 中村省二▽伏木海保巡視船の主任航海士(七尾海保巡視船はまゆき船長) 中松英也▽七尾海保巡視船はまゆき船長(海上保安学校教官) 小野直樹▽新潟海保巡視船えちご主任運用司令士(七尾海保巡視船はまゆき機関長) 桑田稔▽七尾海保巡視船はまゆき機関長(福島海保巡視船あぶくま主任機関士) 富田春樹  
白山石川医療企業団人事(1日付) 顧問(企業長) 長野賢一▽企業長(副企業長) 久保田幸次▽副企業長(公立松任石川中央病院) 八木雅夫▽事務局長(免公立松任石川中央病院管理部長) 今本章久

た。  
この日まで開かれてい  
ラインストーンを付けたところ。楽しかった」と話した。